第 67 回日本生態学会大会（名古屋）案内（第 2 報）

第 67 回日本生態学会大会（公式略称 ESJ67）は、大会実行委員会および大会企画委員会により、下記の要領で開催されます。

大会参加および講演・企画の申込は、大会申込サイトから行っていただきます。9 月末頃稼働の予定ですので、大会公式ホームページ（http://www.esj.ne.jp/meeting/67/）で随時最新情報をご確認ください。

※ 本大会は、前回神戸大会で実施された変更（シンポジウム＋自由集会、自由集会聴講券の発行、シンポジウム・英語口頭発表賞の事前申込不要、日本分子生物学会との学会連携など）を踏襲します。

訂正事項

大会案内 1（ニュースレター No.48、http://www.esj.ne.jp/esj/newsletter/No48.pdf）では、非会員が講演・企画を希望する場合（シンポジウムでの招待講演を除く）は、「講演・企画申込み前に学会への新規入会申込を行い、大会開催日までに会費を納入して学会員となって下さい」とありましたが、「講演・企画申込み前に学会への新規入会申込を行い、2020 年 2 月 12 日までに会費を納入して学会員となって下さい」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

今大会の主な変更点

一般講演（ポスター）の発表総数に上限を設定します

例年の一般講演（ポスター）の発表総数は賞応募・一般それぞれ 500 件未満で、500 件を目安に会場の準備を進めてきました。しかし賞応募者は年々増え、ESJ66 ではポスター賞応募数が 512 件となり、500 件を超えてしまいました。ESJ62 のポスター賞応募数が 402 件であったため、ここ 5 年で実に 1.3 倍も増えたことになります。1 日で 500 枚以上を展示できる会場を全国の各地区で確保するのは容易ではありません。また、応募者数に応じた審査員を確保することもとても難しくなっています。以上の状況から、本大会における一般講演（ポスター）の申込総数の上限を賞応募・一般それぞれ 500 件に設定します。申込は先着順とし、上限に達した場合はそれ以外の講演を選んでいただくことになります。例えば、賞応募が上限に達した場合は一般ポスターと口頭しか選択できないように、賞応募と一般ポスターのどちらも上限を上回った場合は口頭しか選択できないような仕様となります。

一方でこれによって、学生や若手の発表の機会が失われないように配慮します。賞応募と一般ポスターで合計 1000 件の発表機会を確保し（ESJ66: 918 件、ESJ65: 895 件、ESJ64: 955 件）、口頭での一般講演も含め、これまでの規模での発表の機会を維持します。また、申込システムでは、賞応募と一般ポスターの申込数がリアルタイムで表示されるようにし、講演希望者の利便性を高めるようにします。以上、日本生態学会の持続的な大会運営について、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

フォーラムに関するルールが明確になりました

正会員は、大会参加申込の有無に関わらず、フォーラムには無料で参加することができます。非会員の参加や話題提供など、その他の詳細についても、フォーラムの項目でご確認ください。

大会実行委員会

第 67 回日本生態学会大会（ESJ67）実行委員会
大会会長：日野輝明（名城大学）　大会実行委員長：橋本啓史（名城大学）
大会実行副委員長：中川弥智子（名古屋大学）
大会公式ホームページ　http://www.esj.ne.jp/meeting/67/

本大会に関する問い合わせは、大会公式ホームページからリンクしている問い合わせページからお願いします（学会事務局にお問い合わせいただいても対応できません）。

日程・会場

日程：2020 年 3 月 4 日（水）～ 8 日（日）
会場：名城大学天白キャンパス（https://www.meijo-u.ac.jp/about/campus/tempaku.html）

ESJ67 の主な日程は下記のとおりですが、申込状況によって変更されることがあります。詳細なスケジュールは、プログラムおよび大会公式ホームページでお知らせします。

3 月 4 日（水）　各種委員会、自由集会
3 月 5 日（木）　シンポジウム、一般講演（口頭）、自由集会
3 月 6 日（金）　シンポジウム、一般講演（口頭）、懇親会
3 月 7 日（土）　総会、授賞式・受賞講演会、一般講演（ポスター）、自由集会
3 月 8 日（日）　シンポジウム、一般講演（ポスター）、自由集会、高校生ポスター、公開講演会

各種締切

・講演または企画のための新規入会・再入会

非会員の入会申込	**2019 年 10 月 31 日（木）23:59**
非会員の学会費入金	**2020 年 2 月 12 日（水）まで**

（入会手続き　http://www.esj.ne.jp/esj/Nyukai.html を参照）

※オンライン入会ページより入会申込みの後、会員業務窓口より仮会員番号を通知します。**仮会員番号を用いて以下の集会および講演の申込みを行ってください。**
※入会申込は随時受け付けますが、**講演・企画申込のためには 2019 年 10 月 31 日 23:59 までに新規入会申込を行ってから講演・企画申込をする必要があります**（講演・企画申込が 23:59 を超えてはいけません）。

・講演者・企画者に関して

申込	シンポジウム	**2019 年 10 月 31 日（木）23:59**
	自由集会	
	一般講演	
	英語口頭発表賞	
	高校生ポスター発表	
講演要旨登録	各種集会・一般講演	**2020 年 2 月 12 日（水）23:59**
	高校生ポスター	
一般講演口頭発表用ファイルの登録		**発表当日　12:00**

※ESJ66 から、アップロードによる一般講演口頭発表用ファイルの事前登録が廃止され、USB メモリで発表当日までに持参いただくことになりました。詳細は、口頭発表の方法をご覧ください。
※スケジュールに変更の可能性がありますので、適宜、大会公式ホームページでご確認ください。
※各締切日の 17:00 ～ 23:59 はお問い合わせに対応できません。様々な手順の確認はお早めにお願いします。
※すべての締切に関して、**締切後の追加や修正等の依頼には対応できません。**

諸経費の金額と支払い方法

※学会費と大会参加費は納入先が異なります。

学会費

講演・企画を希望される場合は、締切までに 2020 年からの入会が必要です。入会申込後、**2020 年 2 月 12 日まで**に学会費をお支払いください（**会費未納により会員資格停止された方の再入会を含みます**）。
既会員が講演・企画をされる場合は、**同期日までに 2019 年学会費入金**が必要です。
※入金後の学会費返金・入会年の変更には応じられません。
入会申込はこちら：http://www.esj.ne.jp/esj/Nyukai.html

入会に関する問合せ先（大会に関する問合せには対応できません）
一般社団法人日本生態学会　会員業務窓口
〒 162-0801　東京都新宿区山吹町 358-5　アカデミーセンター
Email: esj-post@bunken.co.jp
TEL: 03-6824-9381　FAX: 03-5227-8631
受付時間　平日 9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（土日祝を除く）

大会参加費・懇親会費

・大会参加費

会員種別		2020 年 1 月 17 日（金）まで	2020 年 1 月 29 日（水）まで	大会当日
一般	会　員	12,000 円	13,000 円	14,000 円
	非会員	13,000 円	14,000 円	15,000 円
学生	会　員	5,000 円	5,500 円	6,000 円
	非会員	6,000 円	6,500 円	7,000 円

※大会参加費の前納金額は、期日までに支払手続きを完了した場合に適用されます。支払い手続きは、大会申込サイトから行っていただきます（9 月末頃稼働予定）。
※聴講のみの学部学生以下の学生は、当日受付に限り会員・非会員とも無料です。事前申込は行わずに、当日受付にて学生証をご提示ください。

・懇親会費

会員種別	2020 年 1 月 29 日（水）まで	大会当日
一般（会員・非会員とも）	10,000 円	11,000 円
学生（会員・非会員とも）	5,000 円	6,000 円

※懇親会の当日受付は空きがある場合に限りますので、なるべく事前申込みをしてください。

懇親会参加者付き添いの子供（20 歳未満）については、以下の通り料金を設定して、当日受付を行います（事前申込はありません）。付き添いのない 20 歳未満の方は懇親会に参加できません。

未就学児	無料
小中学生	1,000 円
高大生	4,000 円

・日本生態学会の会員手続きにおいて「定収入のない若手会員」の参加費、懇親会費は「学生」として扱えるよう準備していますので、「定収入のない若手会員（2020 年）」と認められた方はその旨を明記して大会参加申込をしてください。
・懇親会の目的は、日頃は接する機会が少ない研究者同士が気楽な空気のなかで交流を図ることにあります。とりわけ学生には、異なる研究分野や機関の研究者・学生と出会い、研究の幅を広げる機会として、重要な役割を果たしてきました。今大会の懇親会でも、学生の会費を低めにしておりますので、一般・学生ともに多くの皆さまにご参加いただき、有意義で楽しい交流の場として懇親会をご活用いただければ幸いです。
・**大会参加費および懇親会費については 2020 年 1 月 29 日（水）取消分まで全額を返金します（振込手数料等の経費は除く）。それ以降は返金できません。**

参加・講演申込

・**大会参加および講演・企画の申込は、大会申込サイトから行っていただきます。9 月末頃稼働の予定ですので、大会公式ホームページ（http://www.esj.ne.jp/meeting/67/）で随時最新情報をご確認ください。**
・講演・企画の申込み手続きの詳細は、以下の「各種集会の企画申込」または「一般講演」の項目をご確認ください。
・**すべての申込について、締切後の申込は一切受け付けられません。**また、入力ミスは原則として訂正しない方針です。文字化けについても対応いたしませんので、十分ご注意ください。

大会参加資格一覧

会員と非会員の大会参加資格は以下の通りです。非会員の資格は限られますので、この機会にぜひご入会ください。なお、企画・講演の重複制限については、各集会および一般講演の詳細をご覧ください。

講演種別＼会員種別	正会員 （名誉会員含む）	非会員	分子生物学会員
一般講演（口頭・ポスター）*1	○		
シンポジウム・自由集会の企画 *2	○		○ *5
シンポジウム講演 *1	○	○ *4	○ *6
自由集会講演 *1	○		○ *6
シンポジウム・自由集会のコメンテータ・意見表明 *3	○	○	○

*1　講演の主たる説明者を意味します。共同発表者は正会員である必要はありません。
*2　共同企画者も正会員もしくは分子生物学会員に限ります。
*3　要旨を登録しないコメンテータや意見表明を指します。要旨登録を行う場合は「講演」となりますので、2019 年 10 月 31 日（木）までに正会員になっておく必要があります。
*4　企画者に招待された方に限ります。
*5　シンポジウム招待講演者と同等の扱いとなります。
*6　招待講演扱いとなります。

・**非会員が講演・企画を希望される場合（シンポジウムでの招待講演を除く）は、講演・企画申込み前に学会への新規入会申込を行い、2020 年 2 月 12 日までに会費を納入して正会員となって下さい（会費滞納による退会者の再入会の場合も同様です）。**
・高校生ポスター発表会に参加される高校生（中学生含む）については、高校生ポスター発表会・「みんなのジュニア生態学」の案内をご覧下さい。

聴講者としての大会公式行事への参加

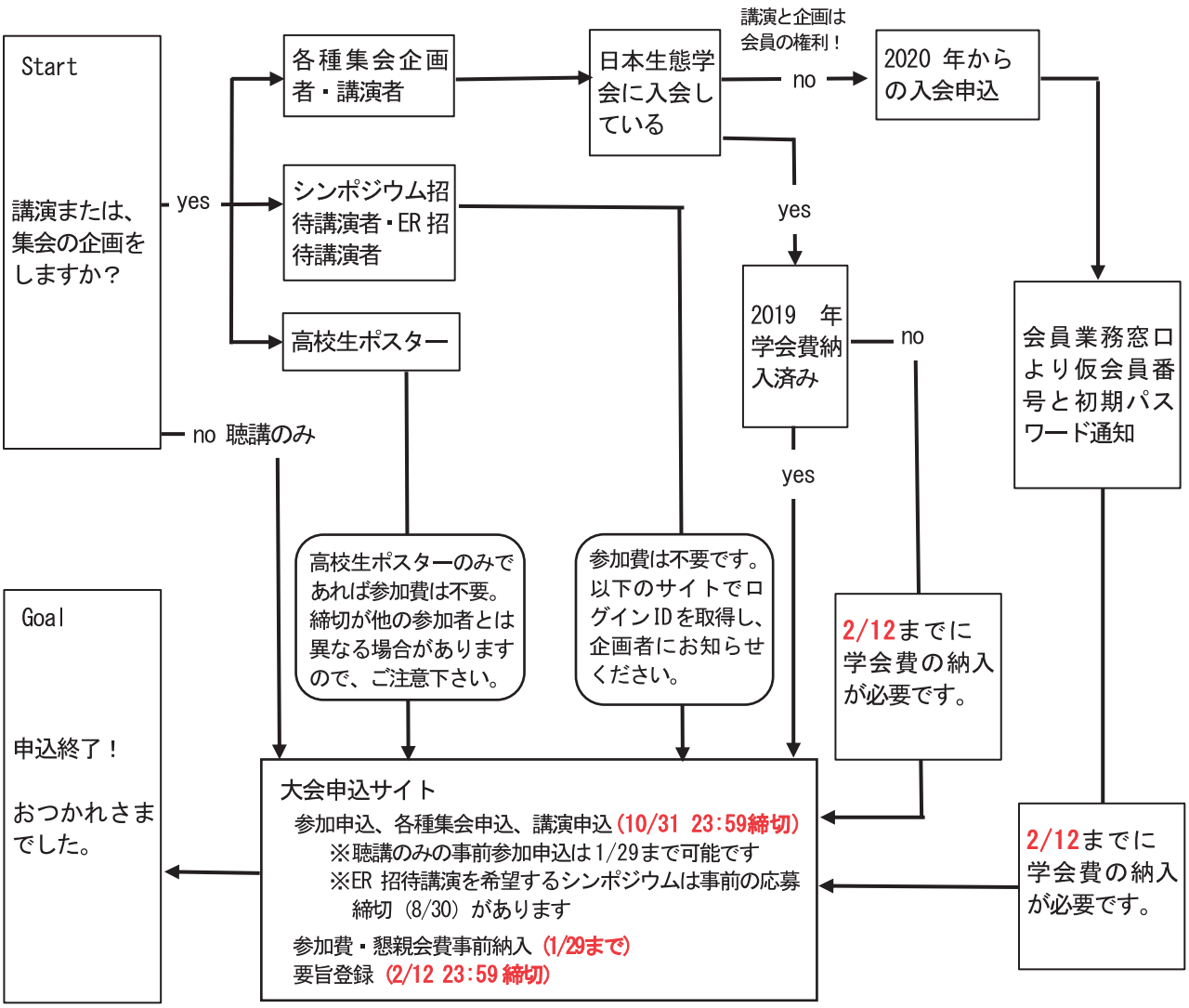
・非会員の方でも、大会参加費をお支払いいただけば、聴講者として参加できます。
・会員・非会員ともに、大会申込サイト（9 月末頃稼働）から大会参加申込を行い、大会参加費を納入してください。当日参加も可能です。
・**自由集会の大会公式行事化に伴い、ESJ66 からは自由集会のみの聴講も有料となりました。自由集会のみの聴講の方には、自由集会聴講券 1,000 円を販売しますので、当日受付にてお求めください。**
・大学の学部学生以下（中・高校生を含む）の大会参加費は、聴講者としての参加の場合、無料です（事前申込は行いませんので、当日大会の受付に学生証提示の上お申し出ください）。
・高校生ポスター発表会での発表も無料です。ただし、その他の一般講演などで発表する場合は、大会参加費の支払いを含む通常の手続きが必要です。

参加・講演申込フローチャート

※自由集会のみの聴講者は、会員、非会員にかかわらず、参加・講演申込は不要ですが、当日 1,000 円で販売する自由集会聴講券が必要です。

※フォーラム講演者の講演申込は不要です。他のプログラム（シンポジウム、自由集会、一般講演など）の聴講・講演がある場合は、以下の手順による大会申込が必要です。

※シンポジウム非会員講演者（ER 招待・招待講演者）は懇親会参加申込を大会申込サイトから行って下さい。懇親会費については、ER 招待講演者は無料、招待講演者は有料となります。



名札の事前郵送

・当日受付の混雑解消のため、**2020 年 1 月 29 日（水）までに大会参加費を振り込まれた方には、大会申込サイトで登録した住所（日本国内の場合のみ）に名札などを郵送します。当日ご持参の上、直接、会場にお入りください。**
・2020 年 1 月 29 日（水）までに振り込まれなかった方や、大会申込サイトの登録住所が海外になっている方には、当日受付でお渡しします。
・名札をお忘れになった場合は、当日受付にお申し出ください。
・大会参加費を振り込んだにも関わらず、2 月 26 日（水）までに名札が届かない場合は、大会公式ホームページの問い合わせページからお問い合わせください。

大会プログラム

・大会プログラムは、2020 年 1 月下旬頃に大会公式ホームページで公開され、どなたでもご覧になれます。
・**大会プログラムの冊子は、名札とともに郵送する引換券により、当日会場にてお受け取りください。**※ 事前送付はなくなりました。
・2020 年 1 月 29 日（水）までに振り込まれなかった方や、大会申込サイトの登録住所が海外になっている方には、引換券を当日受付でお渡しします。
・引換券をお忘れになった場合は、当日受付にお申し出ください。
・大会参加費を振り込んだにも関わらず、2 月 26 日（水）までに引換券が届かない場合は、大会公式ホームページの問い合わせページからお問い合わせください。
・プログラム冊子は、当日受付にて 1 冊 1,000 円で販売します。必要な方は、お求めください。

講演要旨集

・講演要旨集は、HTML 版で作成し公開します。
・講演要旨集は、2 月中旬頃に大会公式ホームページ（http://www.esj.ne.jp/meeting/67/）から閲覧できる予定です。また、大会のすべての講演要旨は学会サイト（http://www.esj.ne.jp/meeting/abst/）から ZIP 形式の圧縮ファイルで入手でき、ネット上と同じく、閲覧および日程表、講演者やキーワードの検索が可能です。

各種集会の企画申込

・前大会 ESJ66 から各種集会が再編成され、「シンポジウム」、「自由集会」、「フォーラム」の 3 種類になりました。シンポジウムと自由集会は前大会に変更された内容や申込要件を踏襲します。下の注意事項を必ずご確認の上、お申込みください。その他の詳細はニュースレター No.48（2019 年 5 月発行）もご覧いただくとともに、大会公式ホームページを随時ご確認ください。
・シンポジウム・自由集会の開催を希望される方は、**2019 年 10 月 31 日（木）23:59** までに大会申込サイトから集会の提案・概要登録を行ってください。**企画提案時の入力内容がそのままプログラム・要旨集に掲載されます。差し替えには一切応じられませんので、ご了承ください。**
・また、企画申込みには、**企画者・共同企画者・講演者（主たる説明者、以下同様）が大会申込サイト上で申込者情報の登録をあらかじめすませておく必要がありますので、早めのご準備をお願いいたします。**会員番号は、マイページの会員検索機能によっても調べることができます（同姓同名にご注意ください）。

シンポジウム

【企画者】

・ESJ66 から事前提案と審査のプロセスがなくなりました。大会申込サイトに直接アクセスし、申込みを行ってください。ただし、ER 招待講演を希望するシンポジウムは、事前の応募締切（2019 年 8 月 30 日（金）23:59）があります（ニュースレター No.48 参照）。
・企画者がすべての講演をまとめて登録します。企画者は申込み前に、日本語・英語両方の各講演情報（講演タイトル、講演者・共同発表者の氏名・所属）および企画者・共同企画者・講演者の会員番号（招待講演者についてはログイン ID）をあらかじめ集約しておいてください。
・申込みサイトにアクセスし、シンポジウムタイトル、集会要旨（日本語 800 文字 / 英語 200words 以内）、各講演情報を入力してください。なお、ER シンポジウムの集会要旨は英語での登録に限ります。また、ESJ65 までと異なり、共同発表者の情報もこの入力により確定するため、講演要旨登録時には変更できませんのでご注意ください。

【講演者】

・大会企画委員会から認められた海外からの ER 招待講演者および非会員の招待講演者（分子生物学会員を含む）を除き、申込・講演できるのは 2019 年 10 月 31 日（木）までに入会申込みを行い、2020 年 2 月 12 日までに学会費の納入をすませた正会員と名誉会員のみ（本案内中の正会員という表記にはすべて名誉会員を含む）です。

・ER 招待講演者・招待講演者以外の各講演者は、大会申込サイトから大会参加費を納入してください。

・各講演者は、日本語・英語両方の各講演情報（講演タイトル（日本語全角 40 文字 / 英語半角 150 文字以内）、講演者・共同発表者の氏名・所属）および講演者の会員番号（招待講演者についてはログイン ID）をあらかじめ企画者にお知らせください。

・**各講演者は、2020 年 2 月 12 日（水）までに大会申込サイトから講演要旨（日本語 800 文字 / 英語 200words 以内）**を登録してください。

自由集会

【企画者】

・ESJ66 から自由集会も公式行事となりました。それに伴い、要旨登録を行う講演をすることが可能になります。

・これまでの意見表明やライトニングトークのように、要旨登録を行う講演のない集会を開催することも可能です。この場合は講演登録の手続きを行う必要はありません。プログラムには、集会要旨の情報のみが掲載されます。

・企画者は申込み前に、日本語・英語両方の各講演情報（講演タイトル、講演者・共同発表者の氏名・所属）および企画者・共同企画者・講演者の会員番号をあらかじめ集約しておいてください（要旨登録を行わないコメントや意見表明を行う方の会員番号入力は不要です）

・大会申込サイトにアクセスし、自由集会タイトル、集会要旨（日本語 800 文字 / 英語 200words 以内）、各講演の情報を入力してください。ESJ65 までと異なり、共同発表者の情報もこの入力により確定するため、講演要旨登録時には変更できませんのでご注意ください。

・要旨登録を伴わない趣旨説明、コメント、意見表明などは、講演には数えません。そのため、要旨登録を伴わないコメントや意見表明を行う方の情報は講演者としては登録せず、集会要旨の中に記載してください。

【講演者】

・申込・講演できるのは、2019 年 10 月 31 日（木）までに入会申込みを行い、2020 年 2 月 12 日までに学会費の納入を済ませた正会員のみです。非会員の方に招待講演をしていただくことはできません（要旨登録を行わないコメントや意見表明は可能です）。ただし、分子生物学会員については日本分子生物学会との学会連携に伴い、自由集会での招待講演が可能です。

・各講演者は大会申込サイトから大会参加費を納入してください。

・日本語・英語両方の各講演情報（講演タイトル（日本語全角 40 文字 / 英語半角 150 文字以内）、講演者・共同発表者の氏名・所属）および講演者の会員番号をあらかじめ企画者にお知らせください（要旨登録を行わないコメントや意見表明を行う方の会員番号入力は不要です）。

・要旨登録を伴わない趣旨説明、コメント、意見表明などは、講演には数えません。そのため、要旨登録を伴わない趣旨説明、コメント、意見表明などは、発表の重複制限の対象とはなりませんが、どの集会で発表を行っているのか把握できないため、シンポジウムとのスケジュール調整は事実上不可能です。

・各講演者は、**2020 年 2 月 12 日（水）までに大会申込サイトから講演要旨（日本語 800 文字 / 英語 200words 以内）**を登録してください。※ 自由集会の公式化に伴い、要旨登録を行う講演が可能になりました。

シンポジウム・自由集会の違いは以下の通りです。

	シンポジウム	自由集会
位置づけ	大会の核となる集会。	様々な話題を自由に議論できる場。
開催時間	約 3 時間	約 1.5 時間
開催の優先度	最優先されます。	会場が足りない場合は抽選で採否を決定します。
日程・時間	最優先されます（聴講者の集まりやすい日時に割り当てられます）。	夕刻を中心に、シンポジウムの枠が空いている日時に割り当てられます。
企画委員会の関与	特定の個人や団体を誹謗中傷する内容がないかだけを審査します。	
企画者の資格	正会員もしくは分子生物学会員	
非会員による講演	奨励します（招待講演者として参加費を免除します）。	認められません（要旨登録を行わないコメントや意見表明は可能です）。ただし、分子生物学会員は招待講演が可能です。
海外からの ER 招待講演者への学会からの旅費支給	大会全体で 1 名以上認められます。	なし。
企画者・講演者の一般講演	不可	可（分子生物学会員を除く）
企画者・講演者の他集会の企画・講演	不可	
提案締切日	10/31（木）	
概要登録 / 集会の概要及び講演者（共同発表者含む）と発表タイトルの登録締切日	10/31（木）	
プログラムおよび要旨集への掲載内容	集会概要が掲載されます。要旨集には各講演の要旨も掲載されます。	

フォーラム

フォーラムとは、生態学会の各種委員会が企画し、生態学会の運営や学会が取り組んでいる生態学に関連する課題について広く会員の意見を募り、会員相互の情報共有を促すとともに、広範な議論により学会内の合意を形成することを目指すものです。正会員は大会参加申込の有無に関わらず、フォーラムには無料で参加することができます。フォーラムの企画やフォーラムでの話題提供は、重複講演制限の対象となりません。申込は各委員会代表者が行います。フォーラムの開催希望について 8 月に学会事務局から聴き取りを行っていますので、それに対する企画提案のみを受け付けます（締切 2019 年 9 月 15 日（日））。企画案は、理事会での審議にかけられ、最終的に大会企画委員会および実行委員会との調整の上で、最終的な採択の可否が決定されます。これらの協議の過程で、内容の修正や開催形態の調整を求められることがあります。フォーラムの開催時間は約 1.5 時間です。

注意：

・非会員の大会参加者（大会参加費支払者）も、フォーラムに参加することができます。
・非会員の自由集会聴講券の利用者は、フォーラムに参加することはできません。
・フォーラムに招待された非会員講演者は、フォーラムのみ無料で参加することできます。シンポジウムや一般講演など他のプログラムへの無料参加はできないため、参加する場合は大会参加費を支払う必要があります。

一般講演

・一般講演には口頭発表とポスター発表があります。申込時に希望（口頭発表かポスター発表）をお聞きしますが、会場の都合でご希望に沿えない場合もあります。
・本大会は一般講演（ポスター）の申込数について、賞応募・一般それぞれ 500 件という上限を設定します（詳しくは「生態学会大会の主な変更点」をお読み下さい）。
・口頭発表には、英語口頭発表賞の審査対象者を含めた英語セッションと通常のセッションがあります。通常のセッションにおいて英語で発表することも可能です。

・海外からの招待者や留学生など、日本語を解さない参加者との交流のためにも、日本語の発表の場合でも一部英語併記を推奨します。
・発表内容に応じて会場・時間の割り振りやポスター賞のグループ分けを行うため、講演申込時に希望分野を選んでいただきます。一般講演申込のフォームに選択可能な分野一覧が示されますので、第三希望までお選びください。以下は講演申込のときに示される発表分野（候補）の一覧です。

群落／植物個体群／植物生理生態／植物繁殖／植物生活史／菌類・微生物／景観／遷移・更新／動物と植物の相互関係／進化／生物多様性／数理／動物群集／動物繁殖／動物個体群／動物生活史／行動／保全／生態系管理／外来種／物質循環／生態学教育・普及

・英語口頭発表賞に申込みされる方も含め英語セッションでの発表を希望される方については、企画委員会が希望分野に応じた分野の統合を行います。

注意：
・一般講演の講演者（主たる説明者、以下同様）は、日本生態学会の正会員に限ります（共同発表者は正会員である必要はありません）。
・講演者は、締切までに、大会申込サイトからから講演申込を行うとともに、大会参加費を納入してください。
・講演申込には、日本語・英語両方の講演タイトル（日本語全角 40 文字 / 英語半角 150 文字以内）や講演者名などが必要となります。
・**2020 年 2 月 12 日（水）までに大会申込サイトから講演要旨（日本語 800 文字 / 英語 200words 以内）**を登録してください。
・1 人で 2 つ以上の講演の演者になることはできません（共同発表者になることは差し支えありません）。
・さらに、**シンポジウムの企画者・講演者は一般講演を行うことができません（口頭・ポスターとも）。**これらの制限は、いずれも限られた場所と時間を分け合って使うための措置ですので、ご理解ください。

口頭発表の方法
・**前回大会から、発表用ファイルの登録は、事前のインターネットを介した登録ではなく、大会中の会場での登録に変更になっています。**
・口頭発表は、会場備え付けのパソコン（OS は Windows）を使用したマイクロソフト・パワーポイント（ppt あるいは pptx）あるいはアドビ・アクロバットリーダー（pdf）による発表とします。持ち込みのパソコンは使用できません。
・ファイルサイズは 100MB 以下としてください。
・**発表用ファイルを USB メモリに保存して会場のスピーカーレディールームに持参し、発表当日の 12:00 までに発表用パソコンにコピーしてください。**この時間までにコピーしなかった人は発表キャンセルとなりますのでご注意ください。
・ファイル受付の詳細は大会公式ホームページで追ってご案内します。

ポスター発表の方法
・ポスターボードは縦長（90 cm x 210 cm）のものを使用する予定です。ポスター発表は、大会期間中に 2 日に分けて行い、最大約 1,000 件のポスター発表を収容できる予定です。本大会は一般講演（ポスター）の発表総数の上限を賞応募・一般それぞれ 500 件に設定します。申込は先着順とし、上限に達した場合はそれ以外の講演を選んでいただくことになります。例えば賞応募が上限を上回った場合は、一般ポスターまたは口頭しか申し込むことができません。賞応募と一般ポスターのそれぞれが上限に達した場合は、口頭しか選択できないようになります。
・海外からの招待者や留学生など、日本語を解さない参加者との交流のためにも、英語での発表や、日本語の発表の場合でも、一部英語を併記したり、英語版の別刷りを用意したりすることを推奨します。
・ポスターを貼るための画鋲は持参してください。例年、会場周辺の店舗では品薄になりますので、ご注意ください。

ポスター賞

若手研究者の研究活動を奨励するために、優秀なポスター発表に賞を贈ります。応募資格については、下記をご参照ください。ポスター発表に関する詳細は大会公式ホームページにも掲載しますので、ポスターを準備するときの参考にしてください。

ポスター賞応募資格について

本大会では、講演者のポスター賞応募資格について以下の条件を設けます。

1. 一般講演の申込締切期限（2019 年 10 月 31 日）の時点で**博士号未取得の学生会員**とします。
2. **過去の日本生態学会大会（ESJ）ポスター賞「最優秀賞」または「優秀賞」を受賞した者は、上記の条件を満たしていても応募できない**ものとします。過去の日本生態学会大会は EAFES と合同で運営された大会を含みます。

ポスター賞審査の要点

・選考上重視されるポイントには以下のようなものがあります。ポスター賞応募者は、これらの点に十分考慮してポスター作成をお願いします。

（A）ポスターの情報伝達能力

ポスター発表では、研究内容がわかりやすく表示されているかが重要です。例えば、（1）良いタイトル、（2）わかりやすい要旨、（3）視線を引きつける工夫、（4）短時間でおおまかな内容が伝えられる工夫などが必要でしょう。そのためには、字・図表が遠くからでも判読できる、情報過多でない、説明なしでも要点が理解できることなどが重要です。公平性を期すために、演題タイトルの受付登録後の変更はお控え下さい。

（B）研究の質

（1）新規性・独創性、（2）データの質・量、（3）解析方法の妥当性、（4）議論・結論の妥当性について審査されます。

・**なお、過去に審査対象であった「発表技術」は、審査対象に含まれません。**優れたポスターは読んだだけでその意義を理解できると考えられるためです。また、ポスター賞の応募者が多いため、審査に要する負担が著しく高まっていることも理由の一つです。ただし、ポスターを見ただけでは評価しにくい項目については、審査員が発表を聴き質問して評価することがあります。

・また、本学会では国際交流に力を入れて取り組んでいます。このため、**日本語を理解しない研究者に対して配慮がなされているかも重視します。**審査の際には使用言語に関わらずポスターの内容についてのみ評価しますが、審査の結果同票だったポスターについては英語による理解が可能なポスターの順位を繰り上げます。英語による理解が可能なポスターとは、少なくとも、タイトル、イントロおよび結論が英語併記される等して、英語を読むだけで研究の概要を理解できる場合、あるいは英語の別刷りが用意されている場合に該当します。

・使用言語を「英語」、もしくは「バイリンガル」とした場合、発表当日に掲示するポスターは英語で作成して下さい。

高校生ポスター発表会・「みんなのジュニア生態学」

・高校生ポスター発表会・「みんなのジュニア生態学」は、生態学の社会への普及のため、日本生態学会によるアウトリーチ活動の一環として企画します。高校生（中学生も歓迎です）にポスター発表をしていただき、生態学諸分野の専門家や学生、他の参加校との交流を通して、生態学全般への関心をさらに高めていただくのが本企画のねらいです。生き物の生態や環境に関わる生物学の内容であれば、どのような分野や題材の発表でも大歓迎です。既に他の学会等で発表された研究の場合、そこからどのように発展したのかを含め、研究の集大成・経過報告としてご発表ください。参加費は無料です。

・「みんなのジュニア生態学講座―高校生と研究者の交流会」も今年で 6 年目を迎えます。現在活躍中の生態学者の高校生や大学生の頃や現在の研究に至った経緯などを話してもらい、高校生に研究者を身近に感じてもらう交流会を行います。詳細は随時、大会公式ホームページなどでお知らせします。

要項

【日時】2020 年 3 月 8 日（日）

開場：9:30（名城大学天白キャンパス共通講義棟北 一階で受付をすませてポスターを貼り出してください）

発表コアタイム（発表・審査）：10:30 ～ 11:30（奇数番）　11:30 ～ 12:30（偶数番）

みんなのジュニア生態学講座（高校生と研究者の交流会）：13:50 ～ 14:50

表彰式：15:00 ～ 15:30

【会場】名城大学天白キャンパス　共通講義棟北 地下一階　名城食堂

【参加費】無料。発表者（人数に制限なし）および引率者（1 校につき 2 名まで）は、大会参加費が免除されます。

【発表資格】原則として、高等学校（中学校）または高等学校に相当する教育機関に在籍する生徒であること。国籍は問いません。

【発表内容】生態や環境に関わる生物学の内容であれば、どのような分野や題材の発表でも受け付けます。既に他の学会等で発表された研究の場合、そこからどのように発展したのかを含め、研究の集大成・経過報告としてご発表ください。

【発表数】本大会においては、**1 校あたりの発表数は最大 2 件までとします。**ただし、発表の応募総数が **50 件**を超えた場合は、発表件数の多い高校を対象に、発表数の調整をお願いすることがあります。

【発表方法】本大会の指定するパネルサイズ（横 90 cm x 縦 210 cm の予定）に納まるポスターをご準備ください。当日、9:30 にはポスターを貼ることができます。発表者（複数可）は、発表コアタイムにポスターの説明を口頭で行ってください。

【審査員】ポスター 1 件につき複数名の審査員が配置され、質問やコメント、アドバイスをします。

【ポスター賞】選考委員会が内容を評価し、発表されたポスターは最優秀賞、優秀賞などとして表彰します。

【みんなのジュニア生態学講座－高校生と研究者の交流会】日本生態学会で現在大活躍中の研究者 3 名に、ご自身の研究内容だけでなく、生態学の研究を目指したきっかけや中学～高校の様子を語っていただきます。

・鏡味麻衣子（横浜国立大学）「身近な水辺に広がる生物間相互作用（仮）」
・向井裕美（森林総合研究所）「振動を巧みに操りコミュニケーションする虫たち（仮）」
・渡邊謙太（沖縄工業高等専門学校）「島の生物は面白い！（仮）」

申込み手順

・発表申込は大会申込サイトからオンラインで受け付けます。発表を希望する高校は、大会公式ホームページで随時最新情報をご確認ください。9 月末頃に受け付けを開始し、**2019 年 10 月 31 日（木）23:59 を締切**とする予定です。なお発表希望申込数が非常に多い場合には、申込先着順で打ち切る可能性もありますので、早めの申込みをよろしくお願いいたします。
・申込者は顧問の教員または保護者とします。必ずしも、大会当日に生徒を引率する方でなくてもかまいませんが、要旨登録などの諸手続きに責任を負っていただける方にしてください。
・発表内容の要旨（日本語で 800 字以内）は、**2020 年 2 月 12 日（水）23:59** までに同じくオンラインシステムから登録していただきます。
・問い合わせは、大会公式ホームページの「お問い合わせフォーム」をご利用ください。
・ESJ67 の高校生ポスター発表に係る派遣依頼文書は担当者より 2 月中旬までにメール等で送付予定です。定められた様式がある場合には上記「お問い合わせフォーム」よりお問い合わせください。
・当日の発表は学生のみでも構いません。

【注意】

申込内容や要旨の修正の要望が例年多数寄せられます。タイトルと発表者は、十分検討してから登録してください。正誤表掲載希望は、よほどのことがない限り受け付けないのが慣例です。また、仮に正誤表掲載となった場合、正誤表のみの対応となり、プログラム冊子および賞状には反映されませんのでご了承ください。

英語口頭発表賞 EPA

本大会では、第 7 回英語口頭発表賞への応募者を募集します。

英語口頭発表賞の目的

英語口頭発表賞（English Presentation Award, EPA）の設立目的は、大会における英語による研究発表を振興し、留学生や国外からの参加者との議論の場をより多く作ることです。同時に、特に若手研究者のコミュニケーション能力と国際的情報発信力を高める機会を増やしたいと考えています。

本賞は英語の流暢さなどの言語能力を競うものではありません。応募者には発表の学問的内容と発表技術や姿勢を競っていただき、優れた発表と判断されたものに英語口頭発表賞を授与します。

重要なお知らせ

ESJ67 の第 7 回英語口頭発表賞では、これまでと比べて 3 つの重要な変更があります。

1）英語口頭発表賞部会が独自で行っていた事前登録がなくなります。英語口頭発表賞の登録も他の口頭発表やポスター発表と同じプロセスを経ることになります。
2）英語口頭発表賞に関する情報は、EPA 独自の website ではなく、基本的に大会公式 website で公開されることになります。過去の英語口頭発表賞の website へのリンクはこちらです（https://esj66epa-jp.weebly.com/）。

3）他の一般講演（口頭）と同様、発表ファイルを大会前に事前アップロードする制度がなくなり、発表セッション当日までに持参いただくことになります。EPA セッション当日の締切時刻までに、発表ファイルを USB メモリに入れてスピーカーレディルームへお持ちください。詳しい情報は追って公開いたします。

応募資格

日本生態学会の会員で、学生（学部、修士課程、博士課程）または 2020 年 3 月までで学位取得後 5 年以内の若手研究者であること。育児 / 介護休暇はこの 5 年間に含めません。過去の英語口頭発表賞の受賞者も応募可能です。なお、この応募資格は、次回大会の ESJ68 から変更になる可能性があります。

審査基準

各部門に数人の審査員が割り当てられ、全ての発表は研究の質（50%）と発表の質（50%）を審査され、採点されます。部門ごとに得点を集計し、原則としてそれぞれの部門の 1 位と 2 位の発表者に最優秀賞と優秀賞が与えられます。

大会参加および講演の申込は、大会申込サイトから行っていただきます。9 月末頃稼働の予定ですので、大会公式ホームページ（http://www.esj.ne.jp/meeting/67/）で随時最新情報をご確認ください。英語口頭発表賞部会では皆様のご応募を心からお待ちしております。

キャリアエクスプローラー（CE）イラストの表示

講演者である学生・ポスドクは、本人が希望する場合、求職中であることを示すキャリアエクスプローラーイラストを口頭発表やポスター発表の際に表示することができます。

（公社）応用物理学会 HP https://www.jsap.or.jp/jsap-meeting/career-explorer からダウンロードし、口頭発表のタイトルページやポスターのタイトル付近に表示してください。CE イラストの使用許可は取得済みです。

色覚多様性への配慮

日本人男性の約 5%、白人男性の約 8%が赤や緑の混じった特定の範囲の色について、差を感じにくいという視覚特性を持っています。このような状況を踏まえ、岡部正隆氏（東京慈恵会医科大学解剖学講座）と伊藤啓氏（東京大学分子細胞生物学研究所）が「色覚バリアフリープレゼンテーション法」の普及をすすめられています。岡部氏のホームページ http://cudo.jp/cbf/ をご覧いただき、発表用の図表作成の参考にしてください。

日本生態学会第 23 回公開講演会

生態学は、生物と環境とのかかわりを対象領域とするが、その環境は人間活動の影響で変動してきた歴史をもち、また近年はその変動の増大が環境問題の深刻化をもたらしている。半自然草原は火入れ・採草・放牧などで維持されてきた草原を意味するが、日本の半自然草原には約 1 万年の歴史があり、里山の構成要素として重要な位置を占めてきたことが近年の研究でわかってきた。この歴史の解明には、土壌学・歴史学などの関連分野とともに生態学の多面的なアプローチがかかわっている。しかし 20 世紀以降、草原の生物資源を利用する生活が衰退したことにより、日本の草原面積は大きく減少しており、その結果多くの草原性の動植物で絶滅が危惧される状況となっている。この講演会は、最近の研究であきらかになりつつある半自然草原の歴史とその多面的な研究成果を広く市民に紹介するとともに、半自然草原の今後の保全・再生に向けてさまざまなセクターからの参加と協力が必要であることを呼びかける機会としたい。

講演会タイトル：「草原の 1 万年史　ひとがつくってきた生態系」
日時：2020 年 3 月 8 日（日）14:30 ～ 17:00（予定）
会場：名城大学天白キャンパス　共通講義棟北 N101（https://www.meijo-u.ac.jp/about/campus/tempaku.html）

講演者
湯本貴和（京都大学）、岡本透（森林総合研究所）、中浜直之（兵庫県立大学）、津田智（岐阜大学）、内田圭（東京大学）、須賀丈（長野県環境保全研究所）他

懇親会

懇親会は 3 月 6 日（金）にメルパルク名古屋で行われます。参加申込と会費納入は大会申込サイトからお願いします。

託児室、ファミリー休憩室

2020 年 3 月 4 日（水）～ 8 日（日）の会期中、大会会場に託児室、ファミリー休憩室を設置する予定です。開設時間や利用方法（託児室については申込方法）などの詳細は､大会公式ホームページで追ってご案内します。

障碍者への配慮

「障害者差別解消法」に基づく配慮を行いますので、大会参加に際して、配慮を必要とされる方は大会公式ホームページの問い合わせページからご相談ください。講演を希望される方は、できるだけ 2019 年 10 月 31 日までにご相談ください。

エコカップ

大会サテライト企画として、親善フットサル大会 エコカップ 2020 が行われます（3 月 9 日（月）を予定)。主催はエコカップ 2020 実行委員会です。詳細は追ってホームページでお知らせします。

宿泊・交通案内

大会中の宿泊は各自での手配をお願いします。会場の最寄り駅の地下鉄鶴舞線「塩釜口」駅までは名古屋駅から市営地下鉄を乗り継いで約 30 分、そこから会場まで 5 分程度です。地下鉄鶴舞線沿線で、多くの宿泊施設が集中する伏見駅や丸ノ内駅周辺が便利です。大会期間中は混雑する可能性もありますので、早めに宿泊の予約をされることをお勧めします。

ご意見

大会企画委員会では、大会運営についてのご意見を随時受け付けています。大会公式ホームページにある問い合わせページからお寄せください。